

2019年度（公社）鳥取青年会議所

国際交流委員会 所信書

委員長 伊藤 秀平

我が国では現在、留学生、外国人移住者と日本に住み暮らす外国の方が増えており、2017年末には250万人を突破し過去最高の伸び率となり外国の方と関わる機会が多くなっています。我々は青年代表として、まちや国の歴史を知り各国がもつ文化に触れ、肌の色や宗教、経済などを受け入れ各々の器の拡張を行い、歴史観と国際観を兼ね揃え、まちと世界を結ぶグローバルリーダーとしての意識をもって打開策を講じる必要があります。

まずは、国際交流の輪を広げるために、2018年度の国際交流委員会を引継ぎ日本とアジア諸国とのコミュニティを形成し、歴史・文化・習慣などの様々な角度から異文化を学びます。そして、今後の国際交流に必要な語学、知識、見識を広げていただくために、外国の方と関わってもらい、国際交流の場で役立つようにします。さらに、人と人とのつながりの意味を理解し、交流のすばらしさを感じてもらうために、多国の異文化にも触れて体験をすることで、まちと世界を結ぶグローバルリーダーとなります。また、国籍の壁をなくすために、外国の方と互いの異文化を理解し尊重して認め合い、互いの地域に対する様々な異文化の理解を深められる取り組みをし、因幡地域の方と外国の方とが相互に国際交流することで一体感を感じて頂きます。そして、グローバル化を推進するために、そこでしか体験できない交流事業をすることで、向上感となります。さらに、多国籍の方と触れ合うために、世界共通語で最も多く使用されている英語の大切さを交流を通して感じてもらい体感してもらうことで、スキルアップにつながっていくと考えています。

様々な事業を通じて、互いの価値観や異文化を理解し学び、言葉や国境を越え交流を体感し、認め合い、成長し、豊かな心を育み、自ずと次の世代へつなげる「明るい豊かな社会」を築くことに貢献し、根心あるメンバーとともに明るい豊かな因幡地域を創造します。

<委員会テーマ>

1. 国際的理解及びグローバルに向けた取り組み